

# 9期 知らなかった あんな話 こんな話 科

## ～そして生きがい再発見～

日時： 令和3年 7月22日（木曜日）

場所： 豊中市立生活情報センター くらしかん （第6回講座）

学習テーマ： ー私たちはどこから来て何処にいるのだろうか？ー

講師： 関 隆晴 先生（大阪教育大学名誉教授）

### テーマ

#### 1) 私たちの来し方：故郷（ふるさと）はどこ？

##### ー 1. あなたはいつどこで生まれましたか？

♪ 僕らはみんないきている♪ 1個の受精卵が始まり

精子と卵子（異なるゲノム）の出会いと合体＝性（有性生殖）

♡ あなたも私も母親の卵管の中で「生まれ」ました。♡

世界に一人だけの「ヒト」誕生

「性」とは？ 2つのゲノムの出会い

（ゲノムとはある生物の持つすべての遺伝子を含むDNAのこと）

（ヒトのゲノムは23本の染色体「n」に分けられています）

（ヒトの受精卵は新しいゲノムの組み合わせ「2n=46」を持つ体細胞）

1個の受精卵が2個に、2個の受精卵が4個に・・・

（体細胞分裂して2nの同じ細胞が数を増す）

##### ー 2. 地球生命体の一員としての「ヒト」

「ヒト」とは生物の一員としての人

精子も卵子も1個の真核細胞（核の中にゲノムをもつ）です。だから

「ヒト」は多くの細胞で出来た真核細胞生物（動物）です

46億年前地球誕生無酸素の原始大気と100℃以上の原始の海

40億年前最初の細胞の誕生（始原細胞）：細胞が生きている

36億年前生命の誕生（原核細胞生物「細菌」だけの世界

6億年前真核多細胞生物の出現（人の目でも見える大きさの生物誕生）

約4億年前（古生代）に魚類（脊椎動物）誕生、生物の陸上進出

4億年前以降生物の大絶滅は5度

6,500万年前、生物5度目の大絶滅、恐竜の絶滅 新生代の始まり

霊長類の中に「ヒト」が誕生

800～600万年前：チンパンジーと人類の共通祖先の中に直立2歩行する

変わり者が出現 → 生物の一員としての「ヒト」祖先

多様な「ヒト」（ホミニン）の出現 ヒト科ヒト属に属す種

ホモ・サピエンス（頭蓋容積約1.5L 現存種）

16±4万年前のアフリカで誕生

## 「ヒト」から「ひと」へ

「ヒト」とは生物の一員としての人  
自然から生まれ、自然と共生し、自然に還る  
「環境世界」の中で生きる（生物から見た世界）  
生存戦略：生き残ったものの子孫が生き延びる



「ひと」は  
自然を傷つけ、愛し、自然に強い影響を与える  
ことばの世界（人間社会）の中で生きる人  
文明化と国家、経済、科学技術の発展をもたらす  
「ひと」とは言葉の世界で生きる人

### 2) 私たちはどこにいるのだろうか？：現代とは？

現代とは現在生きている人によって創られる過去から未来に続く今の時代

#### 科学・技術の発展による激しい変化の時代

地球人類としての集団運営が求められる時代

「ひと」による「2度目」の「大躍進」が始まっている

現代～近未来：2度目の大躍進の時代：サイボーグの時代か？

約4万年前～現代：大躍進の時代：「ひと」の時代

現生人類誕生（約16万年前）～約4万年前：「ヒト」の時代

### 3) 人生の集大成：生涯学習

みんな名前をつけられて大きくなりました（名前をつける生物は「ひと」だけ）

大人とは？ことばの世界でうまく生きることのできるひと

（科学、人間社会、経済の世界、虚構の世界、人間関係の世界）

## ONCCを通しての社会参加

「私の軌跡と夢シート」と竹内まりあ♪人生の扉♪

♪長い旅路の果てに輝くなにかが誰にでもあるさ♪ 歌詞の1節でした

## 午 後

### 1. みんなのラジオ体操

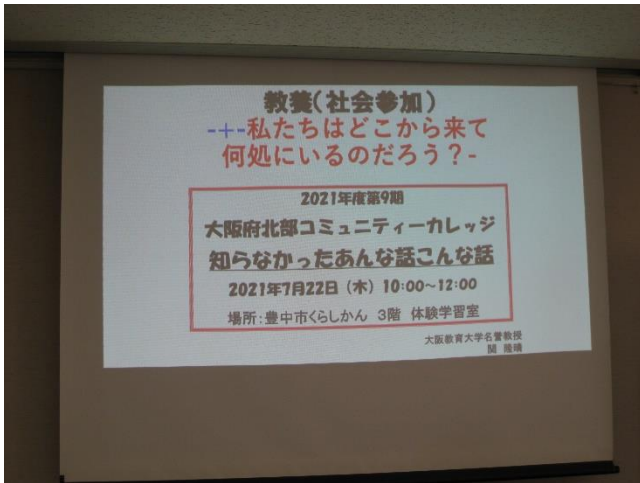
### 2. 各班で午前の講義を振り返り討議して代表者が意見発表と先生への質問

### 3. 桜塚古墳群を訪ねて～能勢街道を歩く

（豊中の文化と歴史の会ガイド 河合孝子さんの案内と説明で）

・大塚古墳・御獅子塚古墳～能勢街道～原田神社～大石塚・小石塚古墳～  
伝統芸能館～阪急電鉄岡町駅 のコースを炎天下の中で歩きました。

（午前中の講師関先生も一緒に歩かれました）



本日の学習テーマ：私たちはどこから来てどこにいるのだろうかと講師の関先生



大塚古墳



御獅子塚古墳



原田神社本殿（2代目）



大石塚古墳とガイドの説明